

知ってほしい結核のこと

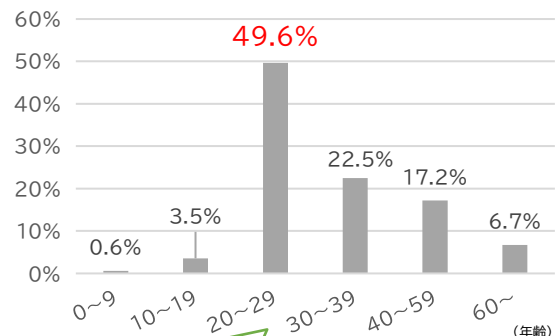


©2014 大阪府もずやん

☆母国を離れ、言語や生活環境が異なるためストレスを感じることもあると思います。ストレスをためると免疫力の低下につながります。免疫力が低下することで結核の発病リスクが高くなります。無理をせず、体調不良を感じた時には監理団体や研修センターの職員へ気軽に相談しましょう。

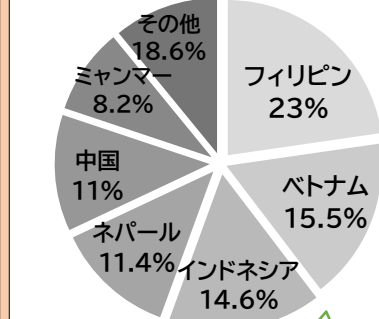
外国生まれの結核患者の状況

<新登録外国人結核患者数・割合、年齢階層別、2022年>



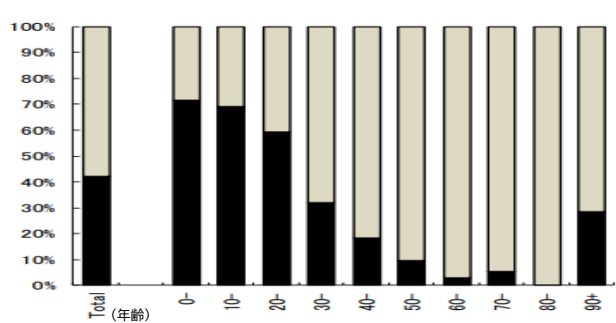
約50%が20～29歳であり、若い年代に多い！

<外国生まれ結核患者、出生国別、2022年>



アジア諸国に多い！

<外国生まれ結核患者の入国時期別割合、年齢階層別、2022年>



20代以下の若年層では、半数以上が入国後5年以内に発病しています！

□ 5年より前の入国/時期不明
■ 最近5年以内の入国

結核とは…

肺結核患者の咳やくしゃみによって、空気中に飛び散った結核菌を吸い込むことで感染します(空気感染)。感染とは、結核菌が体内にいますが、休眠している状態です。発病とは、結核菌が体内で増えて病気を引き起こした状態です。

【主な症状】



咳・痰



微熱



倦怠感



食欲不振

【その他の症状】 近頃、寝汗をかいている、体重が減ってきた等

◎上記のように初期症状はかぜと似ており、症状が長く続くのが特徴です。このような症状等が2週間以上続いた場合には、監理団体や研修センターの職員へ相談しましょう。

治療について

◎結核を発病していると診断されたら、複数の薬を6～9ヶ月間、毎日内服します。
※病状や経過によって長くなることもあります。
◎治療終了まで薬を毎日飲み続けることが大切です。

制度について

◎結核の治療費用については、感染症法により国・自治体からの治療費補助があります。
◎日本語での説明が難しいとき等、必要時通訳を導入することができます。

予防について

(1)適度な運動 (2)十分な睡眠 (3)バランスの良い食事 (4)タバコを吸わない
(5)職場の健康診断(胸部X線検査を含む)を受けましょう。



感染しても全ての人が発病するわけではありません。



結核は薬を飲めば治る病気です！

☆早期発見・早期受診が重要です。

☆周囲の人に感染を広げる可能性がない場合には、内服しながら仕事や学校に行くことができます！

☆結核と診断されたときは保健所もサポートします！



引用：結核予防会
大阪府泉佐野保健所作成